


Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌(暫定版)

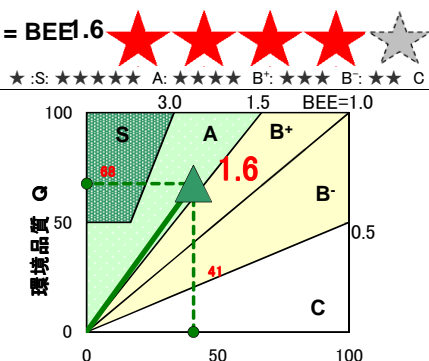
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	六花亭札幌本店ビル新築工事	階数	B1、F10、PH1	
建設地	北海道札幌市中央区北4条西6丁目	構造	S造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	951 人	
気候区分	1地域	年間使用時間	3,650 時間/年	
建物用途	事務所、飲食店、集会所、等	評価の段階	基本設計段階評価	
竣工年	2015年5月 予定	評価の実施日	2014年11月28日	
敷地面積	957 m ²	作成者	河合	
建築面積	540 m ²	確認日	2014年11月28日	
延床面積	5,178 m ²	確認者	河合	

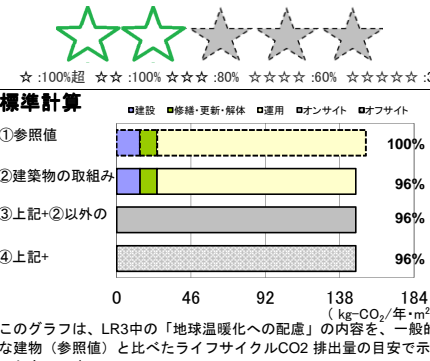
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.6



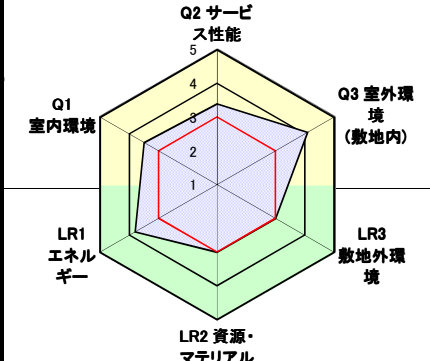
★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 96%
 ③上記+②以外の 96%
 ④上記+ 96%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

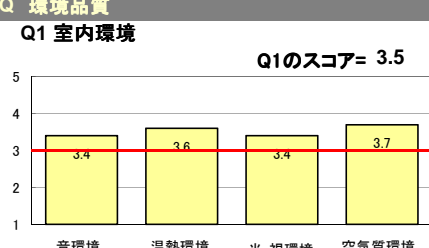


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

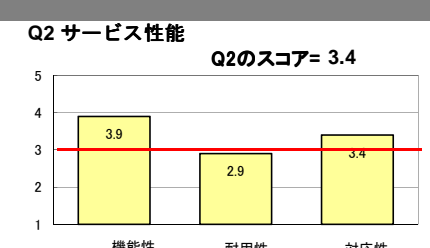
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5



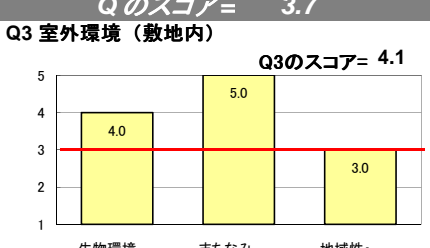
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4



Q3 室外環境(敷地内)

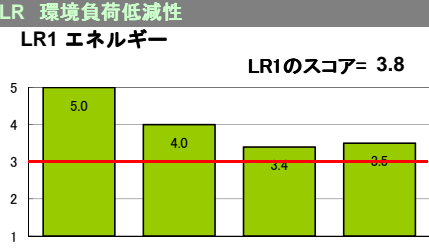
Q3のスコア = 4.1



LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

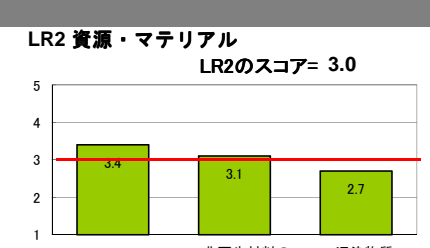
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8



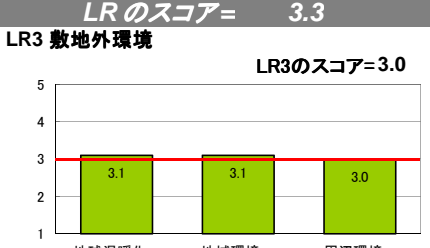
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0



3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・ポアホール式地中熱採熱設備による空調方式を一部階に採用し、自然エネルギーの利用を図っている ・節水型器具等の省エネルギー機器の積極的採用		その他 注) 上記の4つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
W (Global Warming) 省エネルギー・省資源 注) 「W (Global Warming) : 省エネルギー・省資源」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・ポアホール式地中熱採熱設備による空調方式を一部階に採用し、自然エネルギーの利用を図っている ・節水型器具等の省エネルギー機器の積極的採用	G (Green) 緑化 注) 「G (Green) : 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・敷地の南側に北海道の植性にあつた、自生種による庭を設けている	S (Snow) 雪処理 注) 「S (Snow) : 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・外構通路部分にガス温水式ロードヒーティング設備を設置 ・笠木ヒーター等を設置し雪庇防止を図っている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される